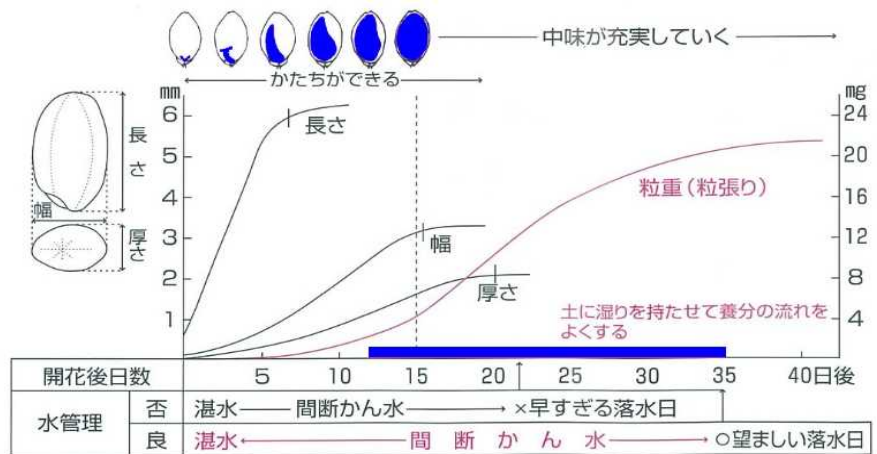


水稲収穫のポイント ～適切な管理で米作りの仕上げを～

香川県西讃農業改良普及センター（R7.9）

水管理

- 早期落水は品質・収量低下の原因になります。収穫7～5日前までを目安に間断灌水を続けましょう。
- 登熟向上のため、収穫作業に影響を及ぼさない程度まで落水を遅らせて、田面を黒湿りに保ちましょう。



コシヒカリのデータ参照

収穫適期

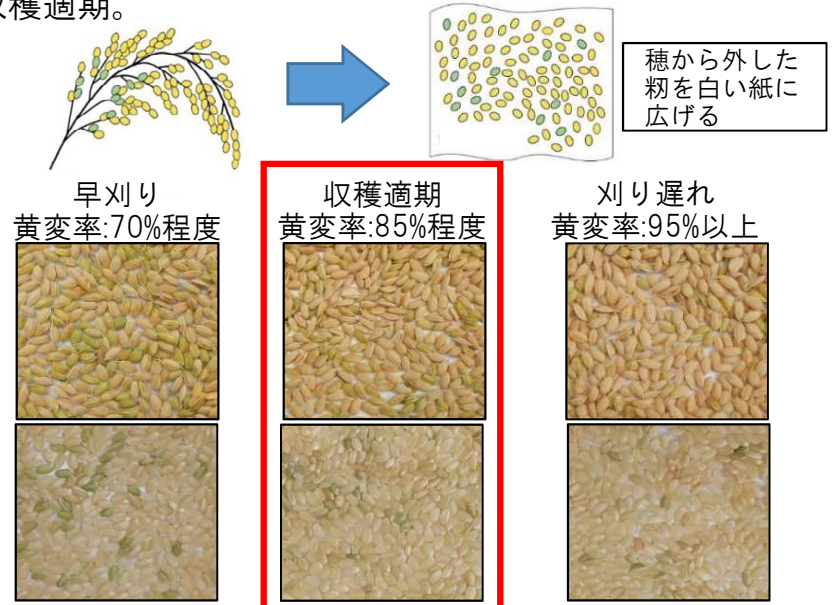
○早刈りは青未熟米発生の原因となり、逆に刈り遅れると胴割米・茶米発生の原因となります。下記を参考に適期収穫を目指しましょう。

表. 収穫適期の積算気温

品種	積算気温※
コシヒカリ	900～950℃
あきさかり	1,000～1,050℃
オオセト	900～980℃
ヒノヒカリ	920～1,030℃

※出穂期からの日平均気温より算出

- 収穫適期見極め方
1. ほ場内の生育が中庸な数か所から、株内で最も背の高い穂を抜き取る。
 2. 穂から外した籾を白い紙の上に広げ、不稔籾を取り除く。
 3. 全籾に占める黄化籾の割合を調べ、85～90%であれば収穫適期。



水稲作付けの維持・拡大にご協力を！

- 近年、香川県の主食用米の作付面積は年間300～500ha規模で減少しており、西讃管内でも年間70～180ha規模で減少しています。
- 県産米のブランド力向上や水田が持つ多面的機能、農村環境維持のため、令和8年産では水稲作付けの維持・拡大にご協力をお願いいたします。

